

よくある間違い1 複数会場で既存類似コードの継続利用を希望している場合

<間違いのポイント>

既存の類似コード(各会場に割り振られた10桁のコード)の利用を継続できる会場は1会場のみだが、複数の会場で継続利用を希望(希望欄にチェック)している。

<厚労省の対応>

類似コードの継続利用を希望する複数会場のうち、**継続利用の条件A)を満した会場、かつ、申し込み日時が最も早い会場(最初に申し込んだ会場)**の確認を進め、それ以外の会場は差し戻しの連絡をメールで差し上げます。
(確認が完了したら既存類似コードの継続利用が認められます。)

<企業・大学側の対応>

差し戻しの連絡を受けた会場について、「継続利用希望」のチェックを外して、再度お申し込みください。
(新規IDを発行する会場として、確認が進められます。)

類似コード・V-SYS IDの継続利用希望

接種費用振込先口座情報 1、2回目接種と同一の振込先口座を費用請求に使用する

類似コード・V-SYS IDの継続利用希望 類似コード・V-SYS IDの継続利用を希望する

この項目にチェックを入れた場合、類似コード・V-SYS IDは新規発行されません。
現在ログインしているV-SYS IDを、追加接種においても継続してご利用いただけます。
※申込内容によっては、継続利用できない場合があります。詳細はヘルプメッセージ(？マーク)をお読みください。

継続利用の条件

3つの条件を満たすか、御確認ください。

(申込後の変更には対応しかねますので、予めご承知置きいただくとともに、十分な事前確認・事前調整をお願いします。)

- A) 1・2回目接種時と同一の①会場所在、②(提携)医療機関、③振込先口座 であること。
- B) 類似コード(各会場に割り振られた10桁のコード)とV-SYS IDを継続利用する会場は一会場のみを選定すること。
一つの会場の類似コード・V-SYS IDを複数の追加接種会場で継続利用することはできません。
- C) 職域追加接種の申込(基本情報の確認・更新)の際に「類似コード・V-SYS IDの継続利用を希望する」にチェックを入れて申込むこと。
この項目にチェックが入っており、A,Bの条件が満たされていない場合は、申し込み内容の不備としてご連絡いたします。
その場合には、追加の手続き、処理時間を要します。

よくある間違い2 既存類似コードの継続利用の条件を満たしていない場合

<間違いのポイント>

類似コードの継続利用を希望する会場であるが、申し込み内容が継続利用の条件A)①～③を満たしていない。

<厚労省の対応>

差し戻しの連絡をメールで差し上げます。

<企業・大学側の対応 その1> 条件A)の①～③を変更する場合

既存類似コードは継続利用できませんので、「継続利用希望」のチェックを外して、再度お申し込みください。
(新規IDを発行する会場として、確認が進められます。)

<企業・大学側の対応 その2> 条件A)の①～③を変更しない場合

①会場所在地情報、②医療機関情報の「変更する」チェックを外して、申し込み内容を1・2回目接種時と同じものに戻してください。

③接種費用振込先口座情報について、「1、2回目接種と同一の振込先口座を費用請求に使用する」にチェックを入れてください。(類似コードの継続利用を希望する会場として、確認が進められます。)

接種会場の情報

① 接種会場所在地情報 右記の既存登録情報から変更する

実施医療機関の情報 (接種体制がパターン2又はパターン3の場合)

② 医療機関情報 右記の既存登録情報から変更する

類似コード・V-SYS IDの継続利用希望

③ 接種費用振込先口座情報 1、2回目

継続利用の条件

3つの条件を満たすか、御確認ください。

(申込後の変更には対応しかねますので、予めご承知置きいただくとともに、十分な事前確認・事前調整をお願いします。)

- 1・2回目接種時と同一の①会場所在地、②(提携)医療機関、③振込先口座 であること。
- 類似コード(各会場に割り振られた10桁のコード)とV-SYS IDを継続利用する会場は一会場のみを選定すること。
一つの会場の類似コード・V-SYS IDを複数の追加接種会場で継続利用することはできません。
- 職域追加接種の申込(基本情報の確認・更新)の際に「類似コード・V-SYS IDの継続利用を希望する」にチェックを入れて申込むこと。
この項目にチェックが入っており、A,Bの条件が満たされていない場合は、申し込み内容の不備としてご連絡いたします。
その場合には、追加の手続き、処理時間を要します。

よくある間違い3 企業内診療所で実施する場合の医療機関情報の登録

<間違いのポイント>

組織内診療所で実施する場合(パターン1の場合)を選択しているにもかかわらず、「実施医療機関の情報」が空欄になっていない。

<厚労省の対応>

差し戻しの連絡をメールで差し上げます。

<企業・大学側の対応 その1> 組織内診療所で実施することが正しい場合

「実施医療機関の情報」を空欄にした上で、御登録ください。(1・2回目接種時にパターン2 or 3 だった場合、当時の医療機関の情報が初期設定で入力されていますので、特にご注意ください。)

<企業・大学側の対応 その2> 組織内診療所で実施することが正しくない場合

パターン2(外部機関が出張して実施する場合)又はパターン3(外部機関に出向いて実施する場合)が正しいければ、(1)接種体制の分類でパターン2又は3を選択し、(2)実施医療機関の情報を入力(確認・更新)した上で御登録ください。

実施医療機関の情報 (接種体制がパターン2又はパターン3の場合)

医療機関情報	<input checked="" type="checkbox"/> 右記の既存登録情報から変更する	既存登録情報
医療機関名	サンプル医療機関	○ 医療機関
代表者名	テスト院長名	△ 院長名
代表電話番号	9999-99-9999	9999-99-9999
医療機関担当連絡先情報		
部署名		
氏名		
電話番号		9999-99-9999
メールアドレス		mail@mail.com

パターン1の場合は空欄に

会場名称・接種体制	<input checked="" type="checkbox"/> 右記の既存登録情報から変更する
接種会場名称	サンプル検査接種会場
接種体制分類	パターン2 外部機関が出張して実施
接種会場所在地情報	<input checked="" type="checkbox"/> 右記の既存登録情報から変更する

パターン1でなく、パターン2・3が正しい場合はこちらを変更ください。

パターン1 企業内診療所で実施

- 企業内の既存の診療所を活用

契約者：企業又は企業内診療所



パターン2 外部機関が出張して実施

- 外部の医療機関が企業内の会議室などで実施
- 実施医療機関は複数の企業から委託を受けることも多い

契約者：医療機関(巡回診療所等)
※新規に医療機関を開設するケースも想定される



パターン3 外部機関に出向いて実施

- 企業が指定した医療機関で実施
- 実施医療機関は複数の企業から委託を受けることも多い
- ※ 地域の予防接種体制に影響を与えないことに留意

契約者：医療機関(地域の医療機関)

